

取扱説明書	AD-243RFA <AD-243RFA>	5406345	13011
	AD-243FFA <AD-243FFA>	5408349	

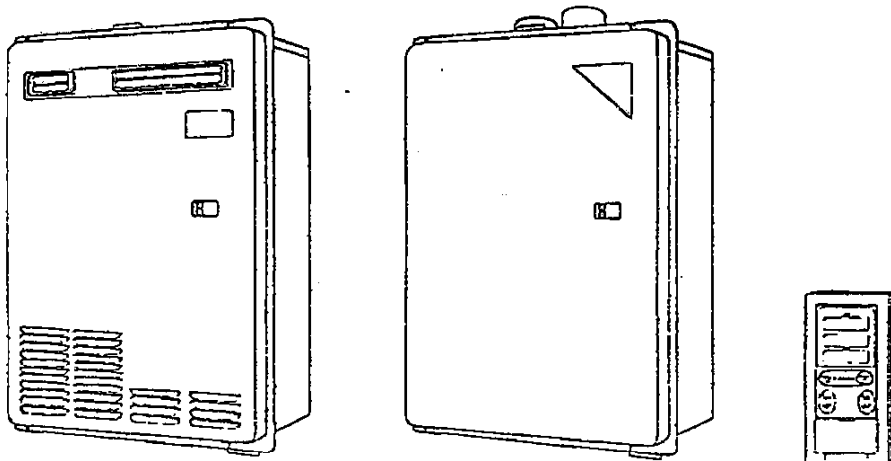
機器名	機器コード	情報 番号	通 番 し 号	訂 正 番 号
AD-243RFA4	5404346	1	3	011

保証書付

# 取扱説明書

品名	機器コード	型式名	設置方式
AD-362RFA-0	5407301	AD-362RFA-L	屋外用
AD-362FFA-1	5407302	AD-362FFA-L	屋内用
AD-243RFA	5406345	AD-243RFA	屋外用
AD-243FFA	5408349	AD-243FFA	屋内用

## ガス給湯暖房機



このたびはガス給湯暖房機をお求めいただきまして、まことにありがとうございました。

- ガス給湯暖房機の機能を、十分生かしていただくために、必ずご使用前に取扱説明書をお読みいただき、正しくお使いください。
- この取扱説明書の23ページが保証書になっています。内容をよくご確認のうえ、大切に保存してください。

適用機器名	適用機器コード
AD-243RFA2	5402347

 TOKYO GAS

取扱説明書	AD-243RFA (AD-243RFA)	5	4	0	6	3	4	5	13021
	AD-243FFA (AD-243FFA)	5	4	0	8	3	4	9	

機器コード	接番	総号	通番	通号	訂正
5404346	1	3	0	2	1

## 特長・機能の紹介

### もくじ／特長・機能の紹介

#### もくじ

●特長・機能の紹介	1
●必ずお守りください。	2
●各部の名前と扱い	5
●初めてお使いいただくときに	7
●使用方法	8
●凍結予防のしかた	11
●点検・お手入れ	13
●故障かな?と思ったら	15
●仕様	18
●原価とアフターサービス	22
●保証書	23

#### ●給湯の立ち上がりがすばやく安定出湯

お湯はり時間もスピーディー！マイコンによる電子コントロール・水量比例制御機構で、すぐに希望の湯温になりしかも安定した湯温が得られます。

#### ●給湯・暖房が同時に使える2缶2水路方式

#### ●快適暖房

暖房は温水利用で、お部屋の空気を汚しません。

#### ●暖房水の自動補給機能付

暖房水の減耗などにより少なくなると、自動的に補給され手間いらず。

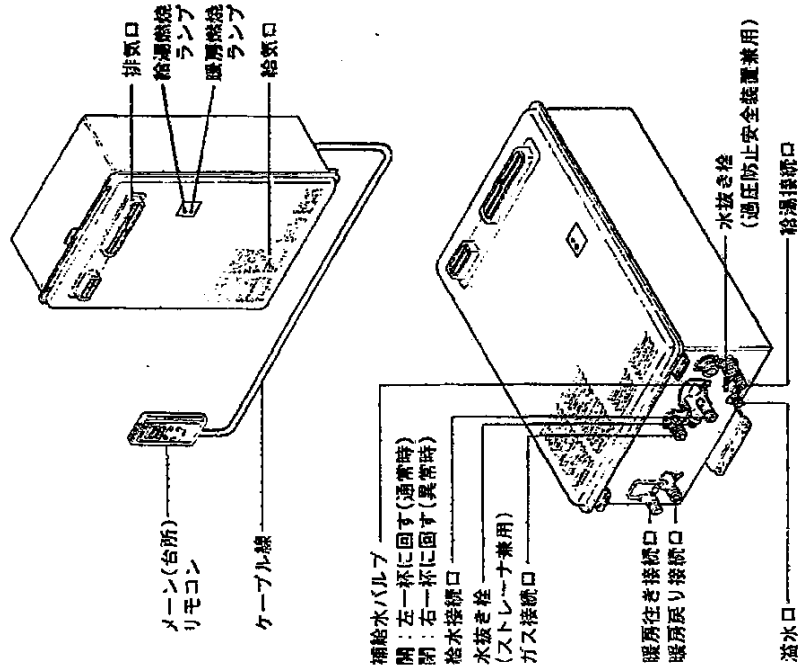


AD-243RFA	(AD-243RFA)	5	4	0	6	3	4	5		
AD-243FFA	(AD-243FFA)	5	4	0	8	3	4	9	13041	

機器コード	機種	種類	通称	型式	訂正番号
5404346	13041				

# 各部の名前と扱いかた

## ● 外観・構造



## 必ずお守りください

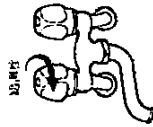
### ●凍結にご注意

冬期は暖かい地方でも急な寒波のため、機器内の水が凍り機器が破損することがあります。(P11参照)

### ●異常時の処置は

異常燃焼、異音、異常な臭気などを感したときや、地震、火災のときは、あわてず次の処置をし、お買い上げの販売店またはお近くの東京ガスに連絡してください。

#### 1 給湯栓を閉める



#### 2 給水元栓とガス元栓を閉める



#### 3 お買い上げの販売店またはお近くの東京ガスへ



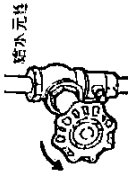

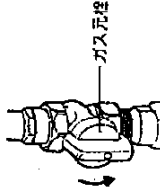
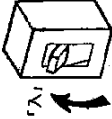

### ●停電がおこったら

- 停電の時は給湯栓を閉めてください。
- 再通電時は時刻表示が「0.00」になります。
- 現在時刻設定・給湯温度設定を行ってからお使いください。

機器コード	機種別	温度	設定
5404346	13051		

# 初めてお使いいただくときに

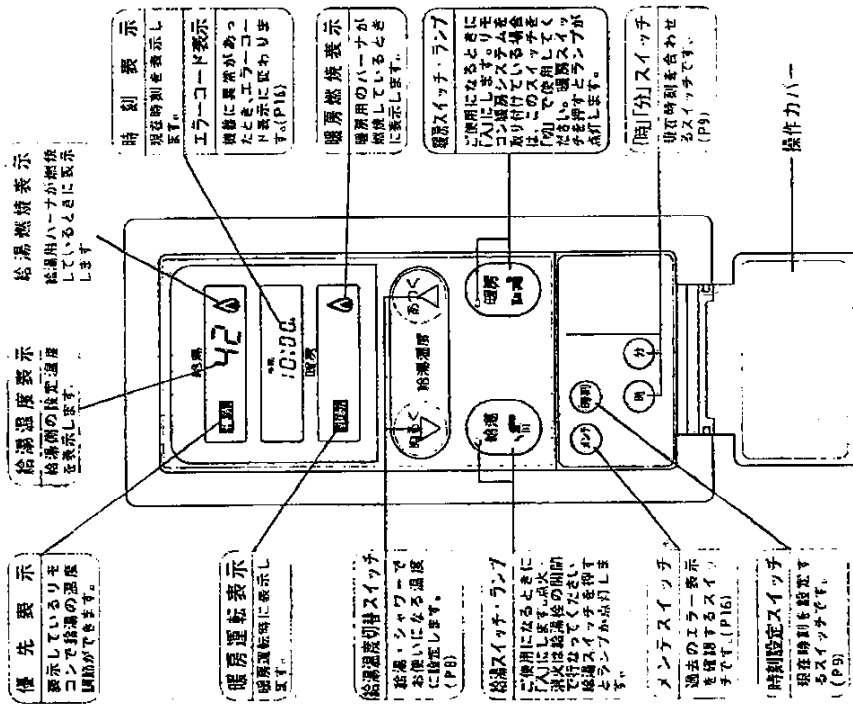
## ●ご使用前の準備と確認

- 1 給水元栓を全開にする  

- 2 給湯栓を開け、水の出ることを確認し閉める  

- 3 ガス元栓を全開にする  

- 4 機器用のブレーカを「入」にする  

- 5 時刻を設定する  


# 各部の名前と扱い

## ●メイン(台所)リモコン

●下記画面表示は説明のための全部表示したものです。実際の運転のときは、該当部分が表示されます。



機器コード	機種	機種	機種	機種	機種
5404346	1	3	0	6	1

# 現在時刻の合わせかた

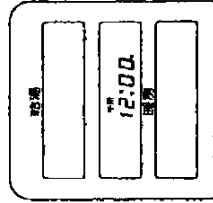
## 使用方法

使用法 給湯のしかた、現在時刻の合わせかた

- ・メインリモコンの操作カバーを開けて行ってください。
- ・電源が「入」の状態では「0:00」が点滅します。
- ・体温度の再測定後も「0:00」が点滅します。
- ・在スイッチの「入」「切」に関係なくセットできます。

### 1 時刻スイッチを押す

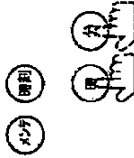
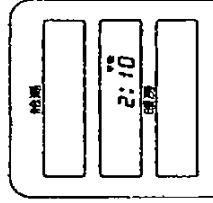
（午前 12:00）が点滅します。



### 2 現在時刻を合わせ

（例：現在時刻が、午後7時10分の場合）

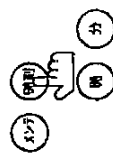
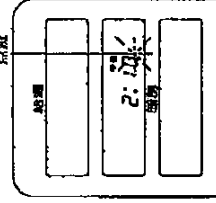
「時」スイッチを押して「午後 7:00」にします。次に分スイッチを押して「午後 7:10」にします。



- ・「時」、「分」スイッチは、一度押すと各々1時間、1分ずつ変わります。押し続けると連続して表示が変わります。

### 3 時刻スイッチを押す

- ・時刻表示が点滅から点灯に変わり、時計が動きはじめます。
- ・時刻表示の右下の「:」が点滅します。



# 給湯のしかた

## 使用方法

### 1 給湯スイッチを押す

給湯ランプが点灯し、リモコンに「給湯」が表示されます。



・給湯温度は、前回設定の温度を指示します。

給湯温度調整スイッチを押して

### 温度を調節する

・必ず「設定」表示を確認してから温度の調節をします。優先表示がされていないリモコンでは温度調節はできません。

・温度切替は約30℃～34℃の間及び約60℃で可能です。

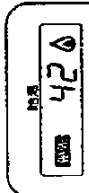
・給湯温度調整スイッチを押すと、連続的に変わります。



### 3 給湯栓を開ける

・体温度の「0」が表示し、お湯が出ます。

・エラーコード表示「111」が表示している場合は、一度給湯栓を閉め、しばらく待った後、開け直します。



### 4 給湯栓を閉める

・バーナーが消火し、給湯側の「A」が消えます。

・給湯用送風機は、バーナー消火後約5分で停止します。

### ご注意

- ・体温度は、電源を「入」「切」したあとに給湯スイッチを入れると設定温度は「0」になります。
- ・シャワーを使用するときは、いまだり体や顔にはかけずに、手で洗濯を確かめながらお湯を流してください。
- ・夏場など水道が熱く、「給湯温度調整スイッチ」を「切」～「時」にセットしても熱い場合、湯量を多く出してお湯を流してください。
- ・給湯後を取りすぎる場合（約2ヶ月以下）、バーナーの火は消えるようになっています。



機器コード	特約	標準	通称	別記	訂正
5404346	1	3	0	7	1

# 凍結予防のしかた

（暖かい部屋で使用する必要はありません。必ずお読みください。）

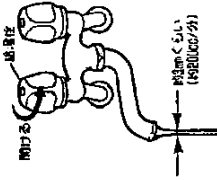
●凍結すると機器が故障したり配管が破損する恐れがあります。（凍結）  
 ●外気温が0℃近くになると凍結予防ヒータや暖房機械運転が作動して凍結予防を行います。  
 絶対に外気温のプレートを切らないでください。

## 給湯

外気温が極度に低くなると、凍結予防ヒータだけでは不十分です。  
 このような場合は、次の方法を行なってください。

### 方法 1. 給湯栓から水を流す

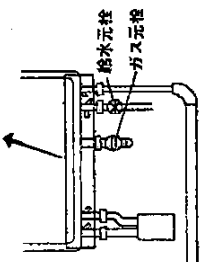
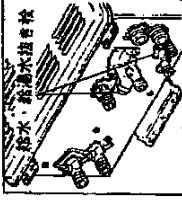
- 1 メーンリモコンの給湯スイッチを切る。
- 2 給湯栓を開ける。



### 方法 2. 水抜きをする

（長期不在の場合、または非常に冷えこみの強いとき。）

- 1 ガス元栓を閉める。
- 2 給水元栓を閉める。
- 3 水抜き栓を開ける。（2カ所）
- 4 給湯栓を開ける。
- 5 シャワーを床面まで下げる。



# 暖房のしかた

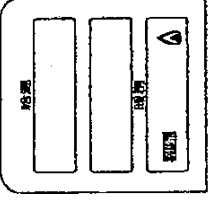
## 使用方法

### 運転

リモコン暖房システムの場合、次の①、②の操作は不要です。

① **メーンリモコンの暖房スイッチを入れる**

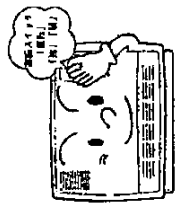
●メーンリモコンの運転灯が点滅されず、自動的に燃焼機が運転します。



### 放熱器の運転スイッチを入れる

●しばらくしてファンが回り暖かい空気が出ます。

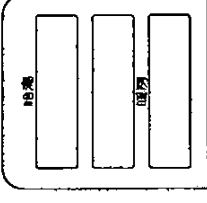
●メーンリモコンのエラーコード表示「113」が表示されている場合、すべての放熱器を「切」にし、しばらく経ってから放熱器を「入」にしてください。



### 停止

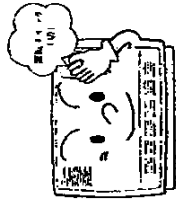
③ **メーンリモコンの暖房スイッチを切る**

●燃焼ランプが消灯し、「運転」の「」が点滅します。



### 放熱器の運転スイッチを切る

④



機器コード	機種	機種	機種	機種
540434613081				

# 点検・お手入れ

## 凍結予防のしかた／点検・お手入れ

### ●点検・お手入れの際のご注意

- 点検・お手入れの際には、必ずガス元栓、給水元栓を閉じ、給湯スイッチ・放熱器の運転スイッチを「切」にして機器が冷えてから行なってください。
- 機器の点検などは、必ず正しい方法で行ってください。
- （燃焼及びリモコンは絶対に分解しないでください。）

### ●点検

- 機器の上や近くに煤、プラスチック、油類など燃えやすいものを置いていませんか？
- 排気口や給気口をふさいでいませんか？

### ●お手入れの方法

- ホストレーナの掃除は、次の要領で行なってください。

### 凍結して水が出ないとき

メインリモコンの給湯スイッチを「切」にし給湯栓を開け、水が出るまで待つてからお風呂にください。

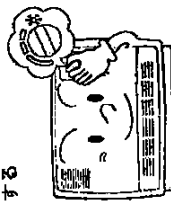
### 水抜き後の使用方法

- ①水抜き栓を閉める。(2ヵ所)
- ②給湯栓バルブは閉めたままにしてください。
- ③給水元栓を開ける。
- ④給湯栓から水が出ることを確認し給湯栓を閉める。
- ⑤ガス元栓を開ける。
- ⑥①～⑤の「使用方法」に従ってお使いください。

### 暖房

- 冬期外気温が0℃近くになると機器や温水回路内の水が凍結し、凍結するところがあります。凍結を予防するための自動的に凍結します。
- また寒い時には、次の操作をお願いします。

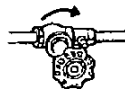
すべての放熱器の運転スイッチを「※」にする  
メインリモコンの暖房スイッチを「切」にする



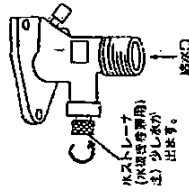
### 凍結したとき

- 凍結した場合は、ガス元栓・給水元栓を閉めてください。凍結したまま使われずと機器に異常が生じる場合があります。
- 凍結が解けたあと、水漏れがないのを確認のうえご使用ください。
- 機器や配管が凍結すると、高額の修理費用がかかる場合があります。(有料)

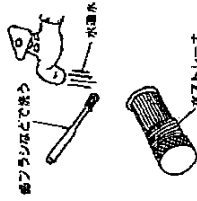
### 1. 給水元栓を開ける



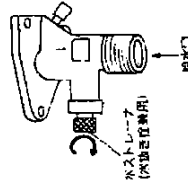
### 2. 給水接続口にあるホストレーナをはずす



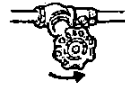
### 3. ホストレーナを洗う



### 4. ホストレーナをもとにもどす



### 5. 給水元栓を開ける





機種	5	4	0	6	3	4	5
部品	1	3	0	9	1		

# 故障かな?と思ったら

## 点検・お手入れ/故障かな?と思ったら

### 1 停電・断水・ガスの供給が停止した時

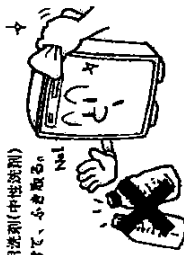
停電	断水	ガスの供給停止
<p>〈停電時〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●運転は停止しますが、水は出続けます。</li> <li>●給湯機能を閉じてください。</li> <li>●給湯スイッチを「切」にしてください。</li> <li>●使用方法(Bページ参照)によりご使用ください。</li> </ul> <p>〈復帰時〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●運転は停止します。</li> <li>●すべての故障警報の運転スイッチを「切」にしてください。</li> <li>●エラーコードE43が点滅し、運転が停止する場合があります。その場合は、お近くの東成ガス会社に連絡してください。</li> </ul>	<p>〈断水時〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●運転は停止します。</li> <li>●給湯機能を閉じてください。</li> <li>●給湯スイッチを「切」にしてください。</li> <li>●使用方法(Bページ参照)によりご使用ください。</li> </ul> <p>〈復帰時〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●運転は正常運転します。</li> <li>●エラーコードE43が点滅し、運転が停止する場合があります。その場合は、お近くの東成ガス会社に連絡してください。</li> </ul>	<p>〈供給停止〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●運転は停止しますが、水は出続けます。</li> <li>●給湯機能を閉じてください。</li> <li>●給湯スイッチを「切」にしてください。</li> <li>●使用方法(Bページ参照)によりご使用ください。</li> </ul> <p>〈供給再開時〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●運転は停止します。</li> <li>●すべての故障警報の運転スイッチを「切」にしてください。</li> <li>●使用方法(Bページ参照)によりご使用ください。</li> </ul>

### 2 次のような場合は故障ではありません。

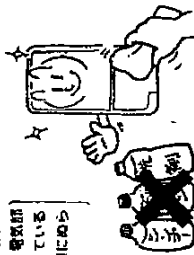
現象	説明	明
寒い日に排気口から湯気がでる。	排気ガスの水分が気化蒸気になるためであり異常ではありません。	
給湯停止後もファンの回転音がする。	再使用時の点火をより早くするための約5分間の回転音です。	
給湯機を触るとお湯が白くなる。	水の中の空気が分離して気泡となるためです。	
長時間給湯を使っていると火が消える。	給湯を90分間連続して使うと自動的に火が消えるようになっています。	
給湯機を急に止めるとゴトーンと音がすることがある。	給水パイプに逆流防止弁が付いている場合、音がする場合がありますが、水が急に止まるために発生する音であり異常ではありません。	

## 点検・お手入れ

- 本体が汚れたときは? 布または、スポンジに専用洗剤(中性洗剤)をつけて、ふき取る。



- リモコンが汚れたときは? 水につけた布をなかく拭き、軽くふき取る。内蔵している品が入っているので絶対にぬらさない。



### ●点検・お手入れ後の確認

- 点検・お手入れの際は、ガス弁を閉めて、給湯スイッチを「入」にして給湯機を開き、機体が正常に作動していることを確認してください。
- 万一、異常な燃焼・異音・異常な臭いを感じたときは、使用を中止し、ガス元栓を閉めてお買い上げの販売店または、お近くの東成ガス会社へご連絡ください。

### 定期点検のおすすめ

ご使用上支障がない場合でも、不燃の燃焼を防ぎ、安心してより長くご利用いただくために、年1回程度の定期点検をおすすめします。お買い上げの販売店またはお近くの東成ガス会社にご相談ください。

●燃焼が古くなると燃焼調整やバーナーにサビやガス、ほこりなどが蓄まったりします。また取り付け場所によりバーナーに「くも」が溜まることがあります。このような場合で安全燃焼を促すことかあり、ときどきご使用中に異常(異常音、燃焼に不安定な臭い、目にしみる等)が感じないか確認してください。異常に気づかれた場合は、休用を中止し、ガスの元栓を閉めてお買い上げの販売店またはお近くの東成ガス会社へご連絡ください。



取扱説明書	AD-243RPA (AD-243RPA)	5	4	0	6	3	4	5	13101
	AD-243FEA (AD-243FEA)	5	4	0	8	3	4	5	

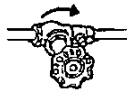
機器コード	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	5	4	0	4	3	4	6	1	3
	1	3	1	0	1				

## 故障かな？と思ったら

### ●安全装置が作動したときの処置方法

・お水がつかなくなったり、ご使用中にバーナーが消火したときは、15～16ページの「故障かな？と思ったら」に従ってください。  
また、次の安全装置が働いた場合には、メーカーリモコンの操作スイッチを「切」にし、ガス元栓・給水元栓を閉めてから、お買い上げの販売店またはお近くの東京ガス支社にご連絡ください。

- 1 給水元栓を閉める
- 2 ガス元栓を閉める
- 3 お買い上げの販売店またはお近くの東京ガスへ連絡



### ●下記の異常時には、安全装置が働きます

- 給湯バーナーの火が消えた場合……………給湯立消え安全装置
- 暖房バーナーの火が消えた場合……………暖房立消え安全装置
- 暖房回路の水が万一個所に凍った場合……………空だき防止装置(暖房)
- 空だきした場合……………空だき安全装置(給湯・暖房)
- 機器の温度が異常に上昇した場合……………過熱防止装置
- 電気回路に漏電が生じた場合……………漏電安全装置
- 過電流が流れた場合……………電流ヒューズ
- 機器内の水圧が異常に上昇した場合……………過圧防止安全装置

## 故障かな？と思ったら

### 3 故障・異常の見分け方・処置方法

ご使用中に、不都合が生じたときは、その要領通りに従ってください。またご使用中に不都合が生じたときは、十分に点検してください。

原因	処置方法
プレークが「入」になっていない	○ プレークを「入」にする
ガス元栓の開き不十分	△ ガス元栓を全開にする
配管内に空気が残っている	△ 点火操作をくり返す
給水元栓の開き不十分	○ 給湯栓をいったん閉めてから給水元栓を全開にする
水ストレーナーの詰まり	△ 詰まり除去または点検を依頼する
節水している	○ 使用をいったん中止する
凍結している	○ 解凍するまで使用を中止する
給湯栓の開き不足	△ 給湯栓を全開にする

### 4 エラーコード表示について

この機種には、不具合が生じたときにその原因をエラーコードで知らせる機能があります。下記のエラーコードの表示に応じた処置を行ってください。

表示	原因	処置方法
00!	給湯を沸かし約1分以上運 転したためです。	給湯栓を「閉」にして再度「開」にしてくだ さい。
11!	給湯用の点火エラーが 生じたためです。	ガス元栓が全開であることを確認後、給湯 栓を「閉」にして再度「開」にしてください。 おためです。
72!	給湯用の点火エラーが 生じたためです。	ガス元栓が全開であることを確認後、給湯 栓を「閉」にして再度「開」にしてください。 おためです。
73	暖房回路の回路に異常か おためです。	ガス元栓が全開であることを確認後、すべ ての放熱部の運転スイッチをいったん 「切」にし、しばらく待ってから「入」に してください。
723	上記以外の表示がでる場合は、ランプが点灯しているスイッチをいったん「切」にして再度作ってください。	





取扱説明書

AD-243RFA (AD-243RFA)  
AD-243FFA (AD-243FFA)

5 4 0 6 3 4 5  
5 4 0 8 3 4 9 1 3 1 3 1

機器コード	機種番号	通称	訂正番号
5404346	13131		

保証書

型式名	AD-362RFA-L / AD-243RFA AD-362FFA-L / AD-243FFA
品名	AD-362RFA-L / AD-243RFA AD-362FFA-L / AD-243FFA

本製品を付属品としてご購入になりました。この保証書は必ずしも本製品の修理に限りません。修理に必要となる部品、材料は別料金で提供いたします。

- 保証期間：本製品の購入日から2年間と1年間を併せて保証いたします。
- 保証対象品：本製品の本体のみです。付属品は保証対象外です。
- 保証期間中に発生した故障は、本製品の修理に限りません。修理に必要となる部品、材料は別料金で提供いたします。
- 保証期間中に発生した故障は、本製品の修理に限りません。修理に必要となる部品、材料は別料金で提供いたします。
- 保証期間中に発生した故障は、本製品の修理に限りません。修理に必要となる部品、材料は別料金で提供いたします。
- 保証期間中に発生した故障は、本製品の修理に限りません。修理に必要となる部品、材料は別料金で提供いたします。

保証書発行 東京ガス株式会社  
保証書発行所 東京ガス株式会社  
保証書発行所 東京ガス株式会社

お買上げ日	年 月 日
販売店名	
住所	
電話番号	

お買上げ日	年 月 日
販売店名	
住所	
電話番号	

- お客様へ
- この保証書は、本製品の修理に限りません。修理に必要となる部品、材料は別料金で提供いたします。
  - 保証期間中に発生した故障は、本製品の修理に限りません。修理に必要となる部品、材料は別料金で提供いたします。
  - 保証期間中に発生した故障は、本製品の修理に限りません。修理に必要となる部品、材料は別料金で提供いたします。
  - 保証期間中に発生した故障は、本製品の修理に限りません。修理に必要となる部品、材料は別料金で提供いたします。

保管とアフターサービス

1 サービスを依頼されるときは

- 必ず「サービス依頼書」を添付の上、なお異常のあるときは、お買い上げの販売店またはお近くの東京ガスにお電話ください。
- アフターサービスを依頼するときは、次のことをお知らせください。
  - ご氏名・ご住所・電話番号・機種
  - 品名 AD-243RFA・AD-243FFA  
AD-362RFA-L・AD-362FFA-L
  - 故障または異常の内容(エラーコードの表示番号及び故障または異常内容をできるだけ詳しく)
  - 故障希望日

2 保証について

- 取扱説明書の23ページが保証書になっています。
- 必ず「販売店名・購入日」等の記入をお確かめになり、保証の内容をよくお読みの上、大切に保管してください。
- 保証期間経過後の故障修理については、修理により製品の機能が維持できる場合は、ご希望により有料で修理いたします。

3 補修用性能部品の最低保有期間について

- 補修用性能部品（補修部品の最低保有期間は製造打切り後10年です）

4 転居または機器を移設される場合

- ガスの種類が異なる地域、または電圧周波数の異なる地域へ転居される場合は、調整、改造の必要があります。お買い上げの販売店、または転居先のガス会社にご相談ください。
- 増設などのため機器を移設される場合、工場には専門の技術が必要となりますので、必ずお買い上げの販売店、またはお近くの東京ガスにご相談ください。
- 設置場所の変更にあたっては、運転音や振動が大きくなる場合があります。また、機器本体の排気口からの蒸気や運転音が隣家の窓面にならないような場所を選ぶなど、ご配慮ください。
- 転居、移設にともなう調整や工事の費用は、保証期間内でも有料となります。

5 アフターサービス等についてわからないとき

- 販売店またはお近くの東京ガス（東京ガス一気配ご専用）にお問い合わせください。

6 保守契約制度

- 保守契約制度（有料）に加入いただくと、定期点検を専門家が責任をもって行ないます。この保守契約につきましては、お買い上げの販売店か、お近くの東京ガスにご相談ください。

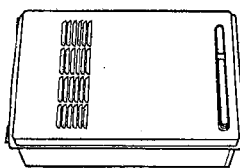
# 取扱説明書 (別冊)

PL法対応

## 「安全上のご注意」

### ガス給湯暖房機

ご使用前の前に「取扱説明書」及びこの取扱説明書(別冊)をよくお読みの上、正しくお使いください。そのあと大切に保管し、必要なときお読みください。



お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容が無視して誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

- 危険** この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
- 警告** この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
- 注意** この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが生ずる可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。(下記は、絵表示の一例です。)

- このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
- このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
- このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

※熱源機の形状は異なる場合があります。

### 危険

■ガス漏れに気付いた時は、ガス栓を閉め、お買い上げの販売店へ連絡する

ガス栓を閉める

窓や戸を全開にする(屋内式の場合)

お買い上げの販売店またはガス供給業者に連絡する

そのままにしておくと、引火し、爆発・火災の原因となります。

■給排気筒が外れたり、つまった状態で使用しない(給排気筒使用の場合)

燃焼排ガスが室内に漏れたり、正常な給排気ができないため異常燃焼し、酸欠や一酸化炭素中毒などの原因となります。

### 警告

■ガス漏れ時は、絶対に火をつけたら電気器具のスイッチの「入・切」などはしない

引火し、爆発・火災の原因となります。

■屋内に設置しない(屋外式の場合)

燃焼排ガスが室内に流入したり、正常な給排気ができないため異常燃焼し、酸欠や一酸化炭素中毒などの原因となります。

■必ず銘板に表示のガス・電源を使用する

他のガス種・電源を使用すると熱源機が正常に作動しなくなり、異常燃焼し、一酸化炭素中毒や火災などの原因となります。

### 警告

■異常燃焼・臭気・異常音を感じたとき、地震・火災のときは次の手順に従う

給湯栓を閉める

リモコンおよび放熱器のスイッチを「切」にする

給水元栓・ガス栓を閉める

お買い上げの販売店またはガス供給業者に連絡する

そのままにしておくと、火災の原因となります。

■給排気口(トップ)をおおわない

火災や異常燃焼による熱源機故障の原因となります。

### 警告

■お出かけやお休みなど長時間使用しないときは、リモコンのスイッチを「切」にする

旅行など、長期間使用しない場合は凍結予防のため水抜きを行なう  
水抜き方法は別添の取扱説明書を参照する。

ガス漏れが生じた場合、火災の原因となります。

■ガソリン・ベンジン・灯油など引火のおそれのあるものを近くで使用しない

火災の原因となります。

■熱源機の設置、移動の工事はお買い上げの販売店に依頼する

正常に熱源機が設置されないで火災や熱源機故障の原因となります。

※混合水栓はレバーを上げた状態が給湯栓「開」の場合で説明してあります。

<p>■燃えやすいものは離す (屋内式の場合)</p> <p>上記の離隔距離を確保しないと、火災の原因となります。</p>	<p>■燃えやすいものは離す (屋外式の場合)</p> <p>上記の離隔距離を確保しないと、火災の原因となります。</p>
<p>■高温差し湯中は、アタタター付近に触れない (高温差し湯機能のある場合)</p> <p>接触禁止</p>	<p>■追加梁などにより屋内状態にしない (梁板などにより阻害をすることもおやめください。)(屋外式の場合)</p> <p>■改修などにより屋内状態にしない</p>

**注意**

<p>■追っだきするときは水位が循環口より10 cm以上、上にあることを確認する (追っだき機能のある場合)</p> <p>空だきによる火災や、熱源機故障の原因となります。</p>	<p>■排水の不良などで熱源機が冠水するような状態では使用しない (屋外式の据置形の場合)</p> <p>火災や異常燃焼による熱源機故障の原因となります。販売店にご相談ください。</p>	<p>■車両・船舶への設置はしない</p> <p>振動により熱源機が転倒し、火災や熱源機故障の原因となります。</p>	<p>■電源プラグの抜き差しは、プラグをもって確実にこなう (電源プラグがある場合)</p> <p>コードを持って引き抜いたりするとコードが切れ、感電や火災の原因となります。</p>
<p>■使用中や消火直後は、排気口(トッブ)付近に触れない</p> <p>接触禁止</p> <p>やけどの原因となります。</p>	<p>■パネルヒーターの表面は触らない (パネルヒーター使用の場合)</p> <p>やけどの原因となります。</p>	<p>■アース接続されていることを確認する</p> <p>漏電が生じた場合、感電の原因となります。アース接続されていない場合は、販売店に依頼してください。</p>	<p>■床暖房の上に電気カーベットを敷かない</p> <p>床材の割れ、そり、隙間の原因となります。</p>
<p>■熱源機の上に乗ったり、物を乗せたりしない</p> <p>やけどや熱源機の転倒により、けが・熱源機故障の原因となります。</p>	<p>■点検・お手入れはリモコンのスイッチを「切」にし、給水元栓とガス栓を閉め電源プラグを抜いて (またはブレーカを「切」にして) 熱源機が冷えてから行なう</p> <p>リモコンのスイッチを「切」にする</p> <p>給水元栓・ガス栓を閉める</p> <p>給水元栓</p> <p>ガス栓</p> <p>電源プラグを抜くまたはブレーカを「切」にする</p> <p>ブレーカ</p> <p>電源プラグ 切</p>	<p>■屋外に設置しない (屋内式の場合)</p> <p>炎が風にあおられて火災の原因となったり、雨水などが入り熱源機故障の原因となります。</p>	<p>■カーベット式床暖房に鋭利なものを落としたり、刺したりしない</p> <p>温水パイプが破損し、温水が噴き出しやけどの原因となります。</p>
<p>■点火時、消火時、使用中はリモコンの燃焼表示 (ランプ) の点灯・消灯を確認する</p> <p>確認を怠ると、熱源機の異常を早期に見えなくなります。</p>	<p>■熱源機が冷えてから行なう (操作手順は別添の取扱説明書を参照する)</p> <p>やけどや感電の原因となります。</p>	<p>■お客様ご自身で修理・分解をしない (フロントカバーを外さない)</p> <p>不備が生じた場合、火災や感電・熱源機故障の原因となります。</p>	<p>■電源プラグまたはブレーカはぬれた手で触らない</p> <p>感電の原因となります。</p>